

三菱電機 産業用除湿機 (R410A対応)

形名

KFH-P2A

KFH-P3A

KFH-P5A

KFH-P10A

取扱説明書

もくじ

	ページ
安全のために必ず守ること	1~3
各部の名称とはたらき	4・5
運転の仕方	6~9
長期間で使用にならないとき	10
お手入れの仕方	11
ようすがおかしいとき	12
保証条件・アフターサービス	13
運転温湿度範囲のめやす	14

製品を正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読みください。

お読みになったあとは「据付工事説明書」とともに大切に保管してください。万一ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき、お役に立ちます。

(特殊仕様品については製品の細部が、この説明書と若干異なる場合があります。)

「この製品は日本国内用ですので、日本国外では
使用できず、またアフターサービスもできません。」
「This appliance is designed for use in Japan
only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.」

安全のために必ず守ること

- ◆この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り扱ってください。
- ◆ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

 **警告** 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度

 **注意** 取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

- ◆図記号の意味は次のとおりです。



- ◆お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- ◆お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

一般事項

警告

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しないこと。

- ◆使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災のおそれあり。
 - ◆法令違反のおそれあり。
- 封入冷媒の種類は、機器付属の説明書・銘板に記載し指定しています。
- 指定冷媒以外を封入した場合、故障・誤作動などの不具合・事故に関して当社は一切責任を負いません。



禁止

安全装置・保護装置の改造や設定変更をしないこと。

- ◆圧力開閉器・温度開閉器などの保護装置を短絡して強制的に運転を行った場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- ◆設定値を変更して使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- ◆当社指定品以外のものを使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。



変更禁止

吹出し風を身体に直接当てないこと。

- ◆吹出し風を身体に直接当てた場合、体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。



使用禁止

電気部品に水をかけないこと。

- ◆ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

特殊環境では、使用しないこと。

- ◆油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用した場合、著しい性能低下・腐食による冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・故障・発煙・火災のおそれあり。



使用禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- ◆感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手禁止

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。

- ◆けが・感電のおそれあり。
- ◆ファン・回転機器により、けがのおそれあり。



感電注意

吹き出しの風が直接あたる所に燃焼器具を置かないこと。

- ◆燃焼器具が不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。



使用禁止

薬品散布する場合、ユニットを停止し、カバーを掛けること。

- ◆薬品がかかると、けが・感電をするおそれあり。



感電注意

運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。

- ◆冷媒は、循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。



やけど注意

換気をよくすること。

- ◆冷媒が漏れた場合、酸素欠乏のおそれあり。
- ◆冷媒が火気に触れた場合、有毒ガス発生のおそれあり。



換気を実行

換気をよくすること。

- ◆燃焼器具を使用した場合、不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。



換気を実行

ヒューズ交換の場合、指定容量のヒューズを使用すること。

- ◆指定容量外のヒューズ・針金・銅線を使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。



指示を実行

異常時（こげ臭いなど）や不具合が発生した場合、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- ◆お買い上げの販売店・お客様相談窓口に連絡すること。
- ◆異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。



指示を実行

端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。

- ◆ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を実行

基礎・据付台が傷んでいないか定期的に点検すること。

- ◆ユニットの転倒・落下によるけがのおそれあり。



指示を実行

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼すること。

- ◆ユニット内に充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発のおそれあり。



指示を実行

⚠ 注意

製品の近くに可燃物を置かないこと。また、可燃性スプレーを使用しないこと。

- ◆引火・火災・爆発のおそれあり。



使用禁止

パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- ◆回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- ◆高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- ◆高温部に触れると、火傷のおそれあり。



使用禁止

ユニットの上に乗ったり物を載せたりしないこと。

- ◆ユニットの転倒や載せたものの落下によるけがのおそれあり。



使用禁止

食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しないこと。

- ◆保存品が品質低下するおそれあり。



使用禁止

吹き出しの風が直接あたる所に動植物を置かないこと。

- ◆悪影響のおそれあり。



使用禁止

ぬれて困るものを下に置かないこと。

- ◆ユニットからの露落ちにより、ぬれるおそれあり。



据付禁止

部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- ◆けがのおそれあり。



接触禁止

水の入った容器を製品などの上に載せないこと。

- ◆水がこぼれた場合、ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

保護具を身に付けて作業すること。

- ◆高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- ◆高温部に触れると、火傷のおそれあり。



けが注意

空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れないこと。

- ◆ファンによるけがのおそれあり。



回転物注意

移設・修理をするときに

⚠ 警告

改造はしないこと。ユニットの移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

- ◆冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

お願い

ユニット内の冷媒は回収し、規定に従って廃棄してください。

◆ 法律（フロン排出抑制法）によって罰せられます。

ユニットの使用範囲を守ってください。

◆ 範囲外で使用した場合、故障のおそれあり。

吹出口・吸込口を塞がないでください。

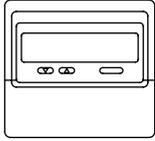
◆ 風の流れを妨げた場合、能力低下・故障のおそれあり。

エアフィルターを外した状態で運転しないでください。

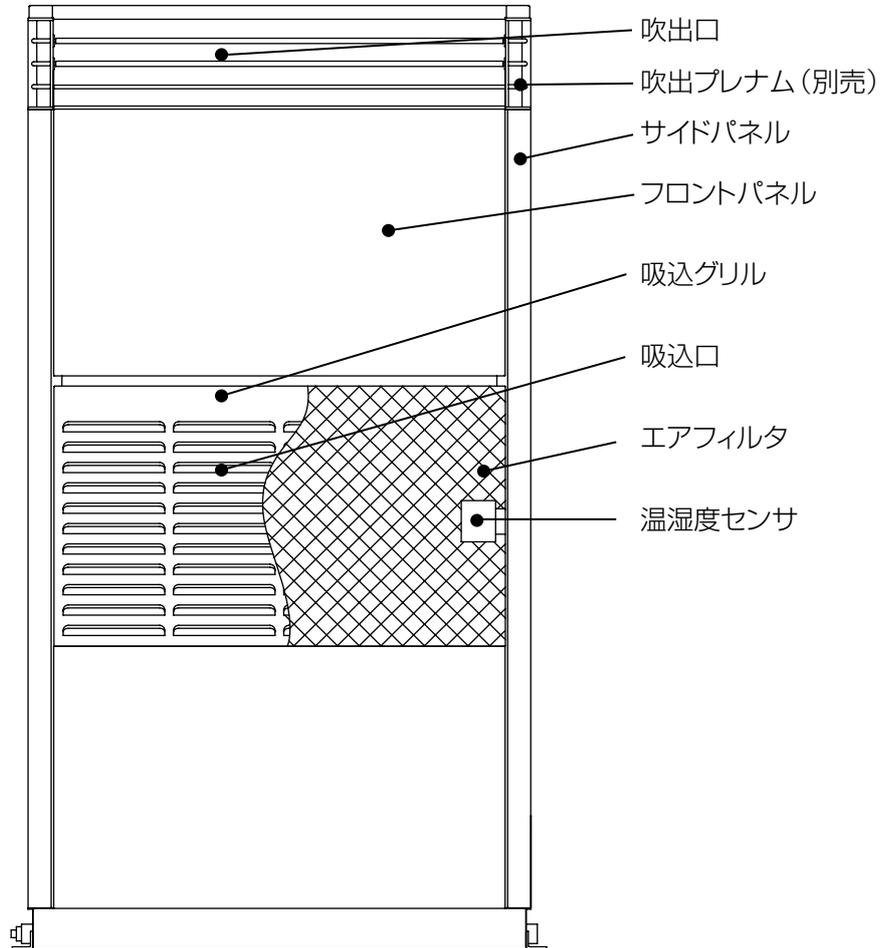
◆ ユニット内部にゴミが詰まり、故障のおそれあり。

各部の名称とはたらき

本体部（室内ユニット）



リモコン（室内ユニット付属）
※リモコン詳細については
P5～P9を参照してください。



リモコン部

操作ロックボタン

ボタンを押すことにより(2秒以上押し続ける)、他の操作ボタンが無効になります。
 ※『運転/停止』、『緊急停止』ボタンはロックしません。
 ※[▼▲設定]ボタンにより温度・湿度設定値の確認はできます。

③モード切替ボタン

設定モード時にボタンを操作することにより設定する項目を切替えることができます。
 モード1: 運転モード
 モード2: 湿度デリアレンジャル
 モード3: 湿度設定ポイント
 ※モード2,モード3は通常、設定する必要はありません。
 詳しくは据付工事説明書をご参照ください。

⑦登録ボタン

モード設定時にボタンを操作することにより、設定値を登録することができます。

⑥設定値変更ボタン[▼▲]

モード設定時、各種設定値を変更します。

⑨設定ボタン[▼▲]

ボタンを1回押すことにより、設定値の確認ができます。設定値を表示中に押すことにより、設定値を変更することができます。操作ロック中には設定値の確認のみ可能です。

②運転/停止ランプ(LED赤色)

運転時『点灯』
 異常時『点滅』

①運転/停止ボタン

ボタンを押す度(2秒以上押し続ける)、運転 ↔ 停止が切替わります。異常時はいったん停止させることにより異常停止が解除されます。
 ※霜取中の場合、霜取終了後に停止します。

緊急停止ボタン

ボタンを押すことによりユニット運転中圧縮機、送風機を瞬時に停止させます。

診断ボタン

3秒以内に2回押すことで、点検(自己診断)モードに移行します。5秒以上押し続けるとリモコン診断モードに移行します。

履歴消去ボタン

3秒以内に2回押すことで、過去の異常履歴を消去します。

手動霜取ボタン

ボタンを操作することにより、霜取を開始します。

霜取りセットボタン

ボタンを操作することにより、霜取を終了させます。

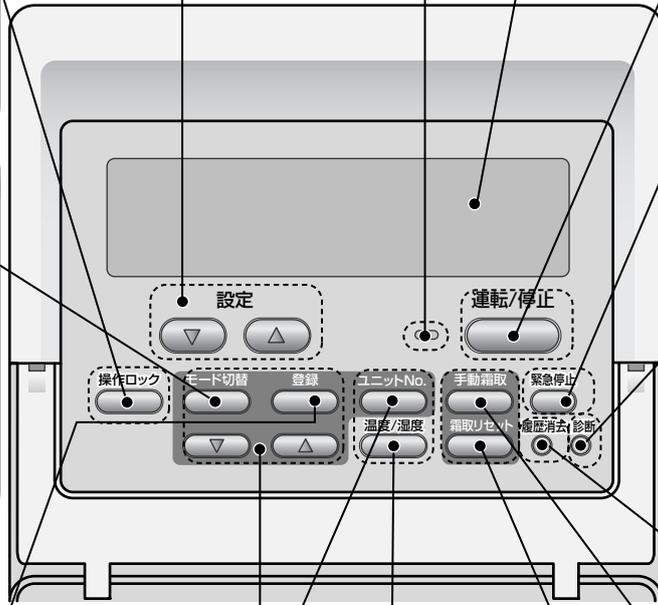
ユニットNo.ボタン

ボタンを操作することにより、グループ運転内の各ユニットの吸込空気を表示部に表示することができます。
 ※通常は親機(UC1)の吸込空気の状態を表示します。

⑧温度/湿度ボタン

ボタンを操作することにより、液晶表示内容を変更することができます。「室内温度」→「室内湿度」→「室内温度・湿度交互表示」→

表示部詳細下記



表示部詳細

運転状態表示部

『運転』…運転時表示します。
 『霜取』…霜取時表示します。
 『異常』…点検必要時表示します

⑤室内温湿度/設定温湿度表示部

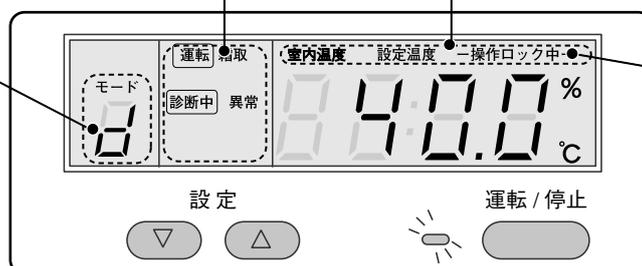
液晶表示の表示内容を表示します。
 例、「室内」「温度」「設定」「湿度」
 ※液晶の単位表示「℃」「%」も表示が変わります。

④モード表示部

通常は運転モードを表示します。
 d : 除湿固定
 F : 送風固定
 モード切替時にはモード番号(1~3)を表示します。

操作ロック表示部

操作ロック時、表示します。



運転の仕方

運転／停止と運転モード、湿度設定の仕方

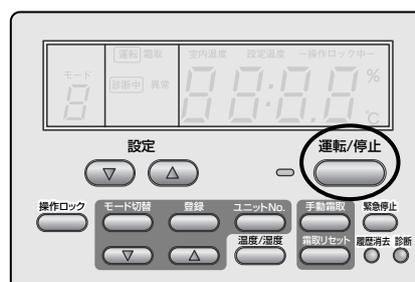
※外部信号等で運転操作される場合は、その操作方法に従ってください。

※KFH-P10Aは圧縮機の保護のため、運転を開始する6時間以上に電源(ブレーカ)を入れてください。

運転を開始するとき

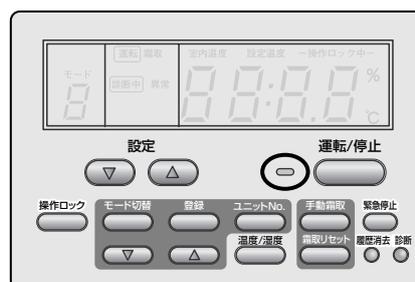
 (運転/停止) ボタンを押します。

※(運転/停止) ボタンは2秒以上押し続けてください。
誤動作防止のため2秒程度時間を設けています。



 (運転ランプ) が点灯します。
運転を開始します。

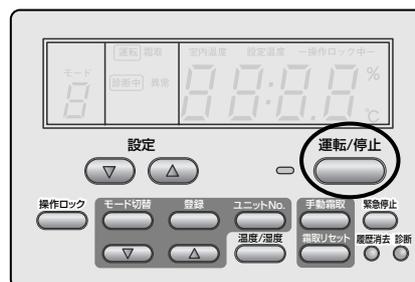
※運転モード、温度設定、湿度設定などのリモコン設定内容は、一度設定すると電源を切った後も記憶していますので、運転の都度設定する必要はありません。



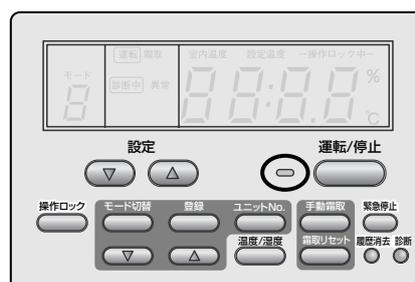
運転を停止するとき

 (運転/停止) ボタンを押します。

※(運転/停止) ボタンは2秒以上押し続けてください。
誤動作防止のため2秒程度時間を設けています。

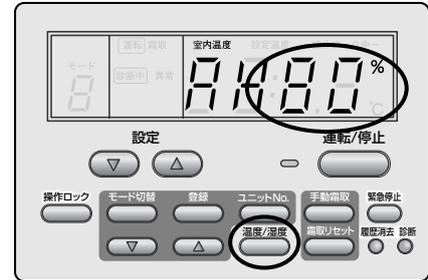
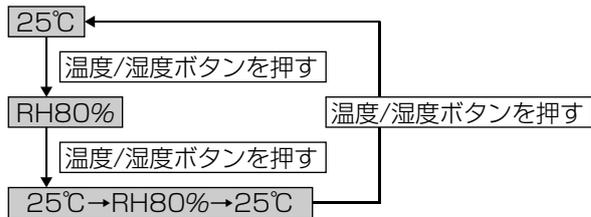


 (運転ランプ) が消灯します。
運転を停止します。



室内温湿度を表示するとき

○ (温度/湿度) ボタンを押します。
 ボタンを押すごとに表示内容が
 室内温度→室内湿度→室内温湿度交互に変更されます。



設定湿度を変えたいとき

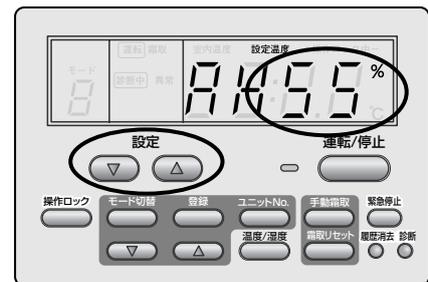
室内湿度表示中に ▽ (設定) (設定) ボタンを1回押します。
 設定湿度が表示されます。



▽ (設定) (設定) ボタンを更に押すことで
 設定湿度の変更ができます。

※ 1回押すごとに設定湿度を1%変更できます。
 設定範囲は下記のとおりです。

湿度	初期値
29~85%	40%



変更後、約10秒間放置します。
 10秒後に室内湿度が再度表示されます。
 これにより設定が完了します。



運転モードを選ぶとき

※通常は、変更せずにd（除湿固定）にて使用してください。

F：送風固定で使用する場合は、以下の説明に従って設定してください。

運転モード	運転内容
A (無効)	運転モードd（除湿固定）に切替わります。
d 除湿固定	目標の湿度となるように除湿運転のみを行います。
C (無効)	運転モードd（除湿固定）に切替わります。
F 送風固定	送風運転のみを行います。

運転中に  (モード切替) ボタンを押します。

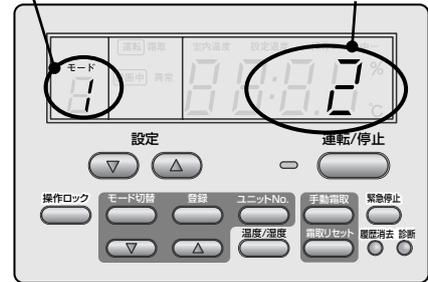


モード表示部 室内温湿度/設定温湿度表示部

モード表示部に1と表示されます。

室内温湿度/設定温湿度表示部に現在の運転モード番号が表示されます。

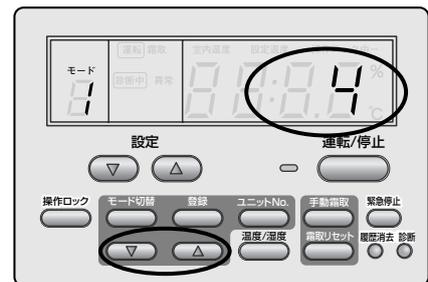
※モード切替ボタンを押すごとに、モード表示部に1~3まで表示されます。必ず1であることを確認し、次の操作に進んでください。



  (設定値変更) ボタンを押して希望の運転モードを選択してください。

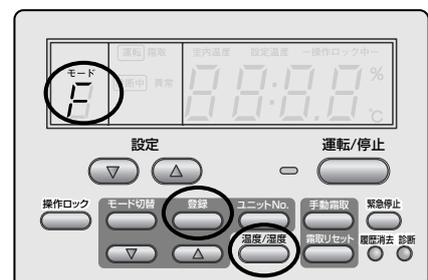
※運転モードと、室内温湿度/設定温湿度表示部番号の対比は下表となっています。希望の運転モードになるように表示部を確認しながら設定してください。

モード表示部番号	運転モード	室内温湿度/設定温湿度表示部番号
1	A (無効)	1
1	d 除湿固定	2
1	C (無効)	3
1	F 送風固定	4



①  (登録) ボタンを押します。
運転モードが変更されます。

②  (温度/湿度) ボタンを押して、
モード表示部に希望の運転モードが表示されていることを確認してください。



その他の表示・点滅について

霜取

霜取運転のとき

(室内ユニットの熱交換器についた霜を溶かす運転をしています。異常ではありません。)

・運転状態表示部に『霜取』と表示します。



異常

異常発生するとき

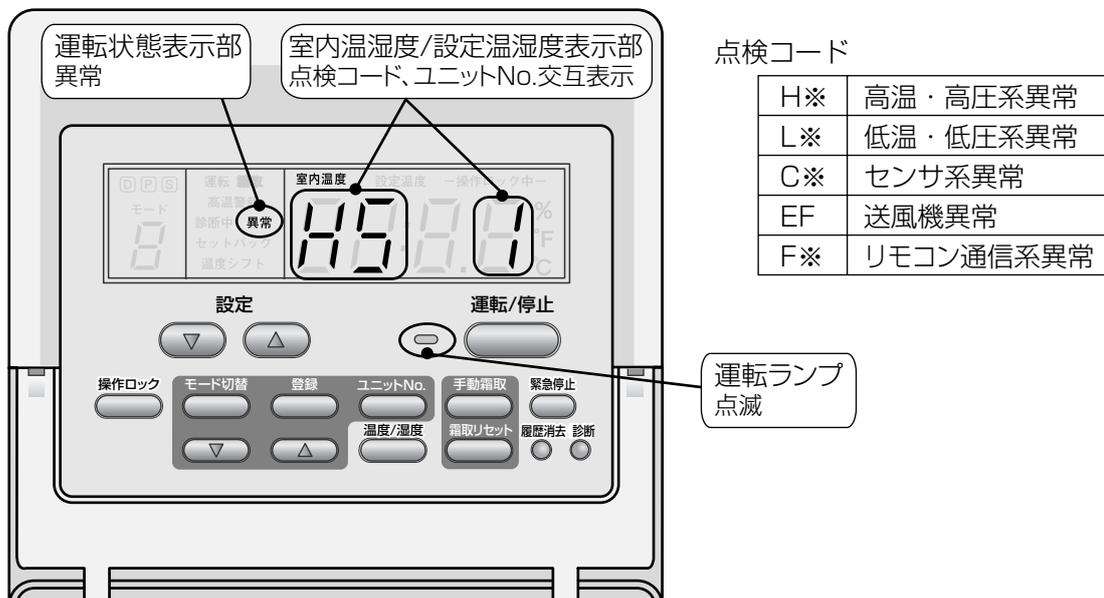
・運転状態表示部に『異常』表示します。

・運転ランプが点滅します。

・室内温湿度/設定温湿度表示部に点検コードとユニットNo.が交互点滅します。

点検コードとユニットNo.をメモしてお買い上げの販売店にお申しつけください。

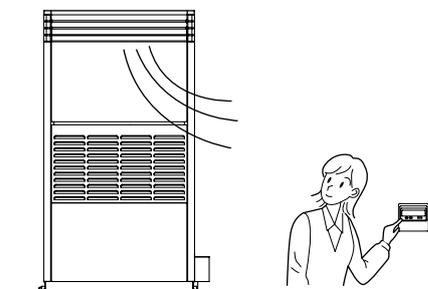
※異常時、運転/停止ボタンを押して停止させることで、『異常』表示を解除できます。



長期間ご使用にならないとき

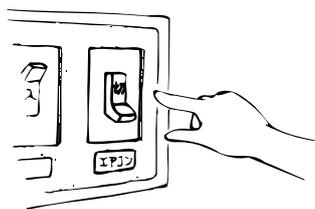
長期間ご使用にならないとき

(1) 4～5時間、送風運転して室内ユニット内部を乾燥させる。



(2) リモコンの（運転／停止）ボタンを押して、運転を停止する。

(3) 室内・室外ユニットの電源（ブレーカ）を切る。



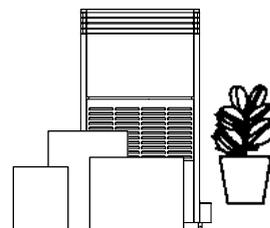
再度使い始めるとき

- 下記作業(1)～(4)の点検を行い、異常のないことを確認後、電源（ブレーカ）を入れてください。
- 電源（ブレーカ）を入れてから6時間以上経過後、運転を開始してください。

(1) エアフィルタを清掃して、取付ける。



(2) 室内ユニットの吹出口・吸込口がふさがれていないことを確認する。



(3) ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。

(4) KFH-P10Aは運転開始の6時間以上前から必ず電源（ブレーカ）を「入」にする。

お手入れの仕方

部品端面・ファンや熱交換器のフィン
表面を素手で触れないこと。

- ・けがのおそれあり。



接触禁止

掃除・整備・点検をする場合、運転を
停止して、主電源を切ること。

- ・けが・感電のおそれあり。
- ・ファン・回転機器により、けがのおそれあり。



感電注意

エアフィルタの清掃

1 エアフィルタを取外す。

吸込グリルの内側に
取付けられています。
斜め上方に引き出し
てください。



2 取外したエアフィルタのホコリを 掃除機で吸取るか、水洗いする。

- 汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗ってください。
- 50℃以上の熱いお湯をかけないでください。変形することがあります。
- もみ洗いや強く絞ることはさけてください。
- すすぎは十分に行い、洗剤が残らないようにしてください。

【洗淨の目安】

- ・ホコリの少ない場所
月1回程度
- ・ホコリの多い場所
週1回程度



3 水洗いしたときは、日陰でよく乾かす。

直射日光や直接火に当てて乾かさないでください。
変形・変色することがあります。

4 エアフィルタを元どおりに取付ける。

パネルの清掃

中性洗剤をやわらかな布に含ませて拭き、
最後に乾いた布で洗剤が残らないように
拭き取ります。



ベンジン・シンナー
の使用はさけてくだ
さい。



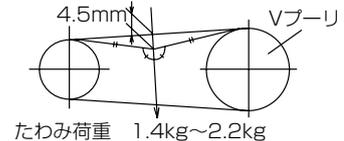
Vベルトの張り調整 [KFH-P10A]

室内送風機のVベルトは、運転時間の経過と共に
全長が伸びて張力が低下します。
この状態で運転を続けると、変磨耗や異常音が発
生し、故障の原因になることがあります。

【調整時期】

- ・初 回： 24~28時間後
- ・2回目以降： 2000時間毎
- ・交 換： 8000時間毎

【張 力】



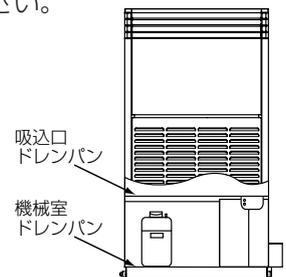
Vプーリの調整等詳細は、据付工事説明書をご覧い
ただくか、お買い上げの販売店にご相談ください。

室内ユニットドレンパンの洗淨

室内ユニットドレンパンにホコリなどがたまりま
すと、水漏れや腐食の原因となります。
定期的に洗淨してください。

【洗淨の目安】

- ・ホコリの少ない場所
月1回程度
- ・ホコリの多い場所
週1回程度



ようすがおかしいとき

●動かない！

リモコンの運転表示が点灯しない。

■電源（ブレーカ）が入っていないことが考えられます。電源（ブレーカ）をご確認ください。

●勝手に動き出した！

運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。

■外部入力信号にてON操作した場合は、運転・停止ボタンを押さなくても動き出します。

●勝手に停止した！

運転・停止ボタンを押さないのに停止した。

■外部入力信号にてOFF操作した場合は、運転・停止ボタンを押さなくても停止します。

●運転が止まらない！

停止ボタンを押したのに停止しない。

■霜取運転中に運転・停止ボタンを押しても、霜取終了まで運転を続けます。

●湿気が取れない、よく冷えない！

湿気が取れない、よく冷えない。

■温湿度設定値を確認して、調節してください。
■フィルタが汚れ、目詰まりして風量が低下している場合は、フィルタの清掃をしてください。
■室内ユニットの吹出口・吸込口が塞がれている場合は、室内ユニット周囲空間を広く開けてください。

再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したがすぐに運転を再開しない。

■機器を保護するため、マイコンの指示で止まっています。停止から、約3分間お待ちください。

●音がする！

水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。

■ユニット内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切換わる時の音です。異常ではありません。
※もし気になるような音の場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。

“ピシッ、ピシッ”という音がする。

■温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。異常ではありません。
※もし気になるような音の場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。

●水蒸気が出る！

室内ユニットより白い霧状の水蒸気がでる。

■室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。異常ではありません。

●リモコン設定について

リモコンにエラーコードが表示される。

■自己診断機能が作動して除湿機を保護しています。
※ご自身では絶対に修理しないでください。除湿機の電源（ブレーカ）を切り、お買い上げの販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。

原因・処置を参照しても、不明の場合はお買い上げの販売店へご連絡ください。

保証条件・アフターサービス

保証条件

1 無償保証期間および範囲

据付けた当日を含め1年間としますが、無償にて支給するのは故障した部品または当社が交換を認めたユニットに限ります。ただし2項に記載する使用方法による故障については、保証期間中であっても有償となります。

2 保証できない範囲

(a) 下表に指定した範囲外で使用したことによる事故の場合

項目	使用範囲
周囲温度・湿度	P14記載の使用範囲内
電源/電圧	三相200V 50/60Hz 運転中の電圧 180~220V 始動時の最低電圧 170V以上 相間電圧不平衡率 2% (4V) 以内

(b) 当社の出荷品を据付けにあたって改造した場合

(c) 運転、調整、保守が不備なことによる事故の場合

- 塩害
- 据付け場所不備による事故（風量不足、化学薬品等の特殊環境条件）
- メンテナンス不備（ガス漏れを気づかなかった場合）
- 現地配管工事による事故（口付け不良、配管損傷、冷媒回路への異物の混入）
- 冷媒過充てん、冷媒不足に起因する事故
- 真空運転による空気、水分を吸込んだと判断される場合
- ショートサイクル運転による事故（運転-停止各々3分以下をショートサイクルと称す。）

(d) 天災、火災による事故

(e) 据付工事中に不都合がある場合

- 据付工事中取扱い不良のため損傷、破損した場合
- 当社関係者が工事上の不備を指摘したにもかかわらず改善されなかった場合
- 軟弱な基礎、軟弱な台枠が原因で起こした事故の場合

(f) その他、ユニット据付け、運転、調整、保守上常識となっている内容を逸脱した工事および使用方法での事故は、一切保証できません。

また、ユニット事故に起因した冷却物、営業補償等の2次補償はいたしませんので当社代理店等と相談の上損害保険で対処してください。

(代理店等と相談して損害保険に加入してください。)

3 点検周期および保全期間

保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]	主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間	膨張弁	1年	20,000時間
モータ		20,000時間	バルブ (電磁弁など)		20,000時間
ベアリング		15,000時間	センサ (サーミスタ、圧力センサなど)		5年
電子基板類		25,000時間	ドレンパン		8年
熱交換器		5年			

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。

注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。また保守点検契約の内容によっては本表よりも、点検・保全の周期が短い場合があります。

アフターサービス

●保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。

ご連絡にあたっては次の点をハッキリお示しください。

1. 除湿機の形名 [例えば KFH-P5A]
2. 製造番号 [吸込グリルを外したドレンパンの定格銘板に記入してあります。]
3. 故障の具合



別売部品

- 吹出プレナム
- 吹出ダクトフランジ
- 後吸込ダクトフランジ（前吸込ふさぎパネル付）
- フィレドフィルター
- 吹出丸ダクト [KFH-P2,3,5A]

運転温湿度範囲のめやす

- 下図の温湿度範囲内でご使用ください。
下図の範囲外でご使用になりますと、保護装置が作動してユニットが停止したりする場合があります。
室内吸込空気乾球温度が約20℃以下になると、室内ユニットの熱交換器に霜が付くため自動的に霜取運転をします。異常ではありません。

運転範囲<室内温湿度>

